

2026年 9 月 11 日

各 位

一般社団法人 全国信用組合中央協会  
全 国 信 用 協 同 組 合 連 合 会

#### 第 4 回「しんくみピーターパン大賞」受賞先の決定について

信用組合業界の表彰制度「しんくみピーターパン大賞」の「こども未来応援賞」がこの  
ほど決定いたしましたので、お知らせします。

同賞は、業界独自の社会貢献型クレジットカードである「しんくみピーターパンカード」※を通じた寄付活動（以下「しんくみピーターパンカードチャリティ」）の特徴的な  
取り組みを表彰するものです。

今回の表彰では、全国の信用組合、信用組合協会が取り組んだ「しんくみピーターパン  
カードチャリティ」のなかから、こども未来応援賞 5 先の活動が決定いたしました。

※「しんくみピーターパンカード」については別紙をご覧ください。

#### 第 4 回「しんくみピーターパン大賞」受賞先

##### ○こども未来応援賞

|                 |                                 |
|-----------------|---------------------------------|
| 釧路信用組合 (北海道)    | 一般社団法人学校地域協働センター「ラポールくしろ」への寄付活動 |
| 東京都信用組合協会 (東京都) | 社会福祉法人 エス・オー・エス 子どもの村への寄付活動     |
| 巻信用組合 (新潟県)     | 一般社団法人 光の森学園への寄付活動              |
| 愛知県中央信用組合 (愛知県) | 天道保育園への寄付活動                     |
| 広島県信用組合協会 (広島県) | 広島県東部地区里親連合会への寄付活動              |

信用組合は、営利を目的とせず、相互扶助（共助の精神）を理念として活動する金融機関です。地域経済の活性化や社会・コミュニティの課題解決に向けた取組み、各種の社会貢献活動等、相互扶助を具現化した活動に日々取り組んでおります。

「しんくみピーターパンカードチャリティ」における寄付金は、難病や障害と闘っている子どもたちへの支援活動や、将来を託す子どもたちへの健全な育成活動に役立てられています。

「しんくみピーターパン大賞」を通じて、多くの方々に「しんくみピーターパンカードチャリティ」を業界が取り組む社会貢献活動の一つとして知っていただくことを目的としています。

| 【本件に関する問い合わせ先】                                                             |                                                             |
|----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 一般社団法人 全国信用組合中央協会<br>ブランドコミュニケーション部<br>TEL：03-3567-2452<br>(平日：9：00～17：00) | 全国信用協同組合連合会<br>総合企画部<br>TEL：03-3562-5115<br>(平日：9：00～17：00) |

## 【こども未来応援賞】

釧路信用組合（北海道）

一般社団法人学校地域協働センター「ラポールくしろ」への寄付活動

### 1. 寄付先を選定した経緯・理由

- ・釧路信用組合では、釧路市に所在する「一般社団法人学校地域協働センター『ラポールくしろ』」に寄付金を贈呈した。
- ・一般社団法人学校地域協働センター「ラポールくしろ」は、2018年に設立し、北海道釧路市を拠点に、学校・子どもと地域社会をつなぐ架け橋として活動している教育支援団体であり、学校と企業のマッチングとして、出前授業や職場体験などのコーディネートや、多世代交流拠点「Digital Stationデジラポ（以下「デジラポ」）」の運営を通じた、子どもの居場所づくりやデジタル人材育成に注力している。また、不登校児やその家族の支援を行う支援団体の事務局を務め、就学支援にも貢献している。
- ・当組合では、デジタル教育を主軸とした先進的な取組みに挑戦している点や、地域社会に深く根差して活動している点に共感を寄せたほか、同法人の代表理事は、小・中学校の校長を務めた経験があり、信頼のおける先であることから、支援先を選定した。

### 2. 寄付先との関係

- ・一般社団法人学校地域協働センター「ラポールくしろ」は、当組合桂木支店の取引先であり、定期的な聞き取りにより、活動状況を把握している。
- ・活動内容に賛同することから、年間6万円を協賛金として出資している。
- ・将来的には、学生向け職場見学ツアーの提携先として関与する見込み。

### 3. 寄付内容

- ・寄付金は、デジラポにて活用するプログラミングや科学の教材購入費用に活用された。
- ・子どもたちが遊びながら学べる教材として役立っており、施設利用者より、学習教材の充実により学習意欲が向上したとの反響があった。
- ・同団体への支援は、子どもの居場所づくりやデジタル人材の教育に繋がっている。

## 【こども未来応援賞】

東京都信用組合協会（東京都）

社会福祉法人エス・オー・エス子どもの村への  
寄付活動

### 1. 寄付先を選定した経緯・理由

- ・東京都信用組合協会は、東京都八王子市に所在する「社会福祉法人エス・オー・エス子どもの村」に寄付金を贈呈した。
- ・「社会福祉法人エス・オー・エス子どもの村」は、東京都八王子市に位置し、さまざまな事情から家族と暮らすことができない子どもたちを、高尾山の豊かな自然に囲まれた環境の中で家庭的な温かさをもって育てる児童養護施設である。
- ・同団体は、地域の児童相談所からの受け入れが約8割であり、また、虐待を理由とする入所が半数以上を占めていることから、積極的な支援が必要であると考え、支援先を選定した。

### 2. 寄付先との関係

- ・直接的な関係は無いものの、寄付先選定にあたっては東京都共同募金会に相談を行い、寄付先として適正かどうか、寄付の必要性の高さ等について協議を行った。

### 3. 寄付内容

- ・寄付金は、施設内の児童居室における備品の整備、購入資金に活用された。
- ・同施設は設立から50年が経過し、施設建物の大規模修繕の実施を控えており、備え付けの家具や備品も入れ替える必要があったため、寄付金は大変重用された。
- ・同団体への支援は、家族と暮らすことのできない子どもたちの自立支援・家庭支援活動の強化に繋がっている。

以 上

## 【こども未来応援賞】

巻信用組合（新潟県）

一般社団法人光の森学園への寄付活動

---

### 1. 寄付先を選定した経緯・理由

- ・巻信用組合は、新潟県新潟市西蒲区に所在する「一般社団法人光の森学園」に寄付金を贈呈した。
- ・「一般社団法人光の森学園」は、2025年に開校したオルタナティブスクールで、様々な理由で学校に通うことが出来ない子どもたちのための学びの場である。子どもたちの個々の違いを尊重し合いながら自立と共生を学ぶことを大切にし、自然豊かな環境の中で、普通の学校教育では出来ない、地域を巻き込んだ体験を通した教育に取り組んでいる。
- ・当組合では、当学園が、学校に通うことが難しい子どもの受け皿となり、子どもの自主性を尊重した学びを提供することで子どもの健全育成に寄与していること、また、地域を巻き込んで取り組んでいることから、しんくみピーターパンチャリティの趣旨に大いに合致していると判断し、当学園を寄付先を選定した。

### 2. 寄付先との関係

- ・当学園の趣旨に賛同した当組合では、開校にあたり、校舎となる古民家の購入資金を融資したほか、空き店舗となっていた当組合旧岩室支店を地域との交流のベースとして学園に活用してもらうために無償譲渡するなど、当学園の活動をサポートしてきた。当支店は、現在では学園のイベント開催時に利用されており、今後は生徒や保護者のほか、地域の誰もが利用できる食堂としての活用が予定されている。

### 3. 寄付内容

- ・寄付金は、校舎の改装費用や学園所有の畑を綺麗にするための草刈り機の購入等に充てられ、快適な学習環境を整備し子どもたちの活動の幅を広げることに役立てられている。
- ・開校して間もないものの、毎月開催されている学園説明会には多くの親子が参加しており、今後生徒が増えていくことが予想され、校舎の改装を行ったことから、より多くの生徒が当学園で学べるようになることが期待される。

## 【こども未来応援賞】

### 愛知県中央信用組合（愛知県） 天道保育園への寄付活動

---

#### 1. 寄付先を選定した経緯・理由

- ・愛知県中央信用組合は、愛知県碧南市に所在する「天道保育園」に、運動用の遊具やままごとセット等を贈呈した。
- ・「天道保育園」は、碧南市が運営する認可保育園（1955年設立）で、生活力がありよく遊ぶ子どもを育成することを保育目標として掲げている。
- ・当組合は碧南市内に本店を置く唯一の金融機関として、同市の保育園等には物品等の購入・修繕を行う十分な予算がなく苦慮している園があることを聞き及び、同市と連携して贈呈先の選定を行い、室内遊具の劣化が酷く園児たちの遊び道具の種類が限られ困っていた「天道保育園」を支援することに決定した。

#### 2. 寄付先との関係

- ・天道保育園は当組合本店から約200メートルのところに位置しており、当組合ではかねてより、園児たちの災害時の避難場所として当組合を開放しているほか、年1回、共催での避難訓練を実施するなど、日頃からリレーションを構築している。

#### 3. 寄付内容

- ・当組合では、ウレタン製の運動用遊具（積み木、トンネル、滑り台、跳び箱など）のほか、ままごとセットを寄贈した。
- ・また、本寄付活動を行ったことが縁となり、当組合の若手職員が5歳児クラスの園児向けにお金の役割や大切さを紹介する金融教育を開催したほか、当組合が主催する地域活性化イベント「けんしんdeマルシェ」開催に際し、碧南市を通じて、市内の保育園・幼稚園からイベントのPRや園児たちの塗り絵の展示などの協力が得られるなど、本寄付活動が、日頃からリレーションのある先との関係深耕や、寄付先団体との繋がりが横展開し、市内の保育園・幼稚園との関係構築に発展している。

## 【こども未来応援賞】

### 広島県信用組合協会（広島県） 広島県東部地区里親連合会への寄付活動

---

#### 1. 寄付先を選定した経緯・理由

- ・当協会では、地域において社会的養護の重要性が高まる中、里親制度の普及と支援に継続的に取り組む同団体の活動は、社会的意義が極めて高いものと考え着目した。
- ・同団体は会費や寄付金を主な収入源としているため、予算の制約から活動が限定的な状況にあった。本寄付活動を通じて、より充実した支援が可能となることから、支援先として適切であると判断した。
- ・また、同団体の活動が、子どもの居場所づくりや健全育成に直結するとともに、里親支援を通じ地域全体で子どもを支える基盤強化に繋がる点を高く評価した。

#### 2. 寄付先との関係

- ・当協会は、広島県内6組合で構成されており、構成組合の一つである備後信用組合の総代より、寄付先の紹介を受けた。
- ・同団体の現状を把握している当該総代の強い支援の思いを背景に、本寄付活動に至った。

#### 3. 寄付内容

- ・寄付金は主に①親子ふれあい事業（宿泊型交流）、②里親向け研修・交流、③個別支援（家庭訪問・通信環境整備）に活用された。特に「親子ふれあい事業」は、コロナ禍で中断していたものの、本寄付活動を契機に再開することとなり、当事業には約40名の里親・児童が参加し、子どもにとって安心して過ごせる居場所の形成と情緒の安定に寄与するとともに、里親同士の情報共有や相互支援機能の強化にも繋がった。本寄付活動後も、当事業の年1回の実施により、継続的な関係構築の機会が創出されている。
- ・さらに通信環境整備や訪問支援により連絡体制が強化され、支援の即応性と継続性が向上し、団体の活動基盤強化に寄与した。

## < 参考1 > 「しんくみピーターパンカード」について

「しんくみピーターパンカード」は、信用組合業界が株式会社オリエントコーポレーションと提携し、信用組合業界独自の社会貢献型クレジットカードとして、1994年に取扱いを開始して以降、106信用組合で約37.8万枚発行されております。

しんくみピーターパンカードの表面にはピーターパンがデザインされており、買い物などのカード利用代金の0.5%相当額※が児童支援関連施設等に寄付される仕組みです（カード利用者の負担はありません）。このカードを使うだけで、多くの子どもたちへの支援につながります。

信用組合業界では、しんくみピーターパンカードを通じた寄付活動を「しんくみピーターパンカードチャリティ」とし、2001年からの信用組合業界選定先への寄付金総額は約4億5千万円にのぼり、他業界でも他に類をみない社会貢献活動となっています。

また、当該寄付活動は、2018年に第15回企業フィランソロピー大賞（公益社団法人日本フィランソロピー協会主催）において「地域の未来創生賞」を受賞しています。

### 【贈呈先の選定】

- ①「難病や障害をもつ子どもとその家族の支援」を活動目的とする団体
- ②「子どもとその家庭の健全育成」を活動目的とする団体

以上を基に各信用組合・信用組合協会が半期毎に自主的に寄付先を選定。

### 【寄付金使途】

- ①難病や障害をもつ子どもとその家族の支援
- ②子どもとその家庭の健全育成

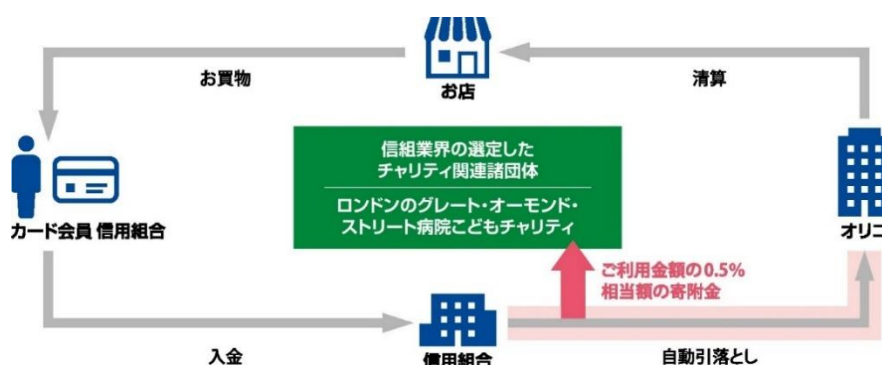
### 【贈呈方法】

- ①金銭による寄付
- ②物品による寄付

### <見本>



### <寄付の仕組み>



取扱信用組合数：106 信用組合

※利用代金の0.5%相当額（0.3%：信用組合業界が選定、0.2%：ロンドンのグレート・オーモンド・ストリート病院こどもチャリティ）を寄付

## < 参考2 > 第4回「しんくみピーターパン大賞」について

### 1. 目的

信用組合および信用組合協会（地区協会および都道府県協会をいう。以下同じ。）が行う「しんくみピーターパンカード」寄付活動の特徴的な取組みを表彰し、業界内外へ還元することで、寄付活動のさらなる活性化に繋げるとともに、信用組合業界の社会貢献活動（寄付活動）を広く認知させ、ブランドイメージの向上を図る。

### 2. 表彰対象

- ・「しんくみピーターパンカード」寄付活動を実施している信用組合および信用組合協会
- ・対象期間は、前年（1月～12月）の寄付活動とする。

### 3. 選考方法

しんくみピーターパン大賞選考会にて厳正に選考のうえ、表彰先候補を選定し、全信中協理事会で表彰先を決定する。

### 4. 賞の名称

賞の名称は、こども未来応援賞とする。

#### 【2026年度しんくみピーターパン大賞】表彰選考会 委員

| （全信中協・全信組連） |               | （外部選考委員） |                  |
|-------------|---------------|----------|------------------|
| 黒岩 清        | 全信中協 会長       | 中村 健     | 株式会社全国信用組合新聞社 顧問 |
| 柳沢 祥二       | 全信組連 会長       | 伊藤 麻美    | 日本電鍍工業株式会社 代表取締役 |
| 北村 信        | 全信中協・全信組連 理事長 |          |                  |
| 吉澤 守        | 全信中協 専務理事     |          |                  |
| 濱田 秀夫       | 全信組連 専務理事     |          |                  |

※所属は2026年9月現在

### 5. 表彰

表彰は、全国信用組合大会等において表彰先を発表し、後日、事務局より表彰状を贈呈することにより行う。